



ニューヨーク
補習授業校
学校だより

日本語を話す仲間と日本語で学ぶ補習校

補習校協育



令和7年(2025年)4月18日

第3号

校長 小島 昇

授業が始まっています！

4月12日は第2回目の授業日でした。借用校の工事のため、L1校の幼初等部は臨時の休業日とし、中高等部はW校にスクールバスで移動して、W校の教室を借りて授業をしました。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。



さて、各教室では新しい仲間と一緒に授業が始まっています。



入園して間もない年中クラスでは、先生が読んでくれる紙芝居に集中する幼児の姿が見られました。配られたばかりの紅白帽子を被り、行儀よく幼児用の椅子に座って先生が読んでくれる話に聴き入っていました。その様子は、これから始まる補習校生活での成長が大いに期待できるものでした。

年長クラスでは、折り紙でチューリップの花を折り、春の制作をしていました。大きな折り紙で花を折った幼児たちは、その半分の大きさの折り紙でも花を折ってみました。中には、さらに小さな折り紙で小さな可愛らしい花を折る幼児も出てきて、「やってみたい」という意欲と手先の器用さに、担任教師もアシスタントも私も、大人たちは感心させられました。茎や葉、太陽、てんとう虫🐞などを思い思いに描き加え、楽しい春の作品が完成しました。



初等部1年生は、早速ひらがなの学習を始めています。入学前に、ある程度ひらがなの読み書きができるようになっていた児童が多くいますが、教師の指導のもと、改めてとめ・はね・はらいなどを確認し、丁寧に書く練習を進めていました。また、鉛筆の持ち方、姿勢、手の置き方なども1年生の最初の段階で学んでいます。先生や友だちと一緒に「いち、に、さん」と空書き(空中に指で文字を書く)をする様子からは、仲間と一緒に勉強ができる嬉しさが伝わってきました。

中等部の理科の授業では、種子をつくる植物の「花のつくり」を実際の花を観察しながら学んでいました。実物を手にし、花びらを遠慮がちに一枚一枚はがしていくと、絵や写真では分かりにくい実際の植物のつくりが見えてきます。時間数では少ない理科の授業ですが、このような機会を設定することで生徒たちの関心は一気に高まります。そして、日常生活ではあまり使うことのない「おしべ」「めしべ」「がく」「子房」等の日本語を学び、観察を通して実際にそれらの日本語を使っている生徒たちを見ていると、日本語で理科を学ぶだけでなく、理科を学びながら日本語も学んでいることが分かります。



「補習校協育」を進めていくために、仲間や先生と一緒に学ぶ姿、日本語で理解し、日本語で伝えようと頑張っている子どもたちの姿も、できるだけ多くこの学校だよりでお伝えしていきたいと考えています。

「週刊 NY 生活」硬筆書写コンクール選考作品発表

「週刊 NY 生活」硬筆書写コンクール第 57 回春期課題の選考作品発表が 4 月 12 日号でありました。年度末で補習校がお休みに入る時期と重なったためか、学校を通しての応募は少なめでしたが、今回も 2 名の作品が選考されました。

おめでとうございます！

【小学 1 年・2 年の部】 立石 まなみ さん (W)

【小学 5 年・6 年の部】 岩崎 創太 さん (W)



なお、紙面に掲載された選考作品の中から、年度末に年間最優秀大賞と優秀賞が選出され、米国ゼブラ社より豪華筆記用具セットの賞品と証状が授与されます。

次回、第 58 回夏期課題は 5 月 10 日号で発表されます。学校だよりでもお知らせします。

学習支援システム「e ライブラリ」について

ニューヨーク補習授業校では学習支援システム「e ライブラリ」を導入しています。初等部・中等部の全児童生徒は家庭学習で自由に使用することができます。また、学級担任や教科担任から「e ライブラリ」を活用した宿題が出ることもあります。対象となる児童生徒には既にログイン ID やパスワードを書面にてお知らせしていますが、ログイン情報に関する問合せが増えていきますので、4 月 19 日の授業日に改めて全児童生徒に通知します。ID やパスワードは卒業や転出まで使用しますので、忘れないように保存をお願いします。

まだログインをしたことがない方は、この機会にまずは一度ログインをして、どのような学習支援システムかをご確認いただければと思います。昨年度の補習授業校だより第 38 号で利用方法のご案内をしていますので、必要に応じ参照してください。(リンク)[202438.pdf](#)

